

藝園牧草叢

夕張郡長沼町字幌内一〇六六
雪印種苗株式会社

中央研究農場



ピーマン・なすの品種とその使いわけ

ピーマン

需要の伸びのいちじるしい野菜の一つで、家庭菜園にてもさかんに作られるようになってきた。作型については、すでに周年供給されるようになっているが、生育適温が高く、土壤も肥沃で適湿を要することから、促成栽培には高度な技術を要し、温暖地以外ではむつかしい。

一般には促成トマトのハウスの両裾を利用した半促成と、トンネル栽培（最も早い播種期で2月中下旬、5月上旬定植）が主体となっている。

品種は稜の浅い大果で厚肉、収量の多い緑玉、エースピーマンで代表されているが、弊社育成の美鈴ピーマンは極早生で、しかも低温での育生がすぐれ、着果数多く、果はやや小型だが、厚肉で果形も整っており、トンネル、露地栽培（ビニールのマルチの効果大）に好評を得ている。



美 鈴



新 早 真

なす

なすは生育に高温を要し、栽培期間も長いので促成栽培を行なっても有利でない。温暖地でも温泉熱の利用できる地帯とか、特に暖かい地帯にのみ限定されている。したがって北海道の作型はトンネルによる早熟とマルチによる露地栽培がほと

んどを占めている。

なすの品種は地方により一部嗜好性について云々されているけれども一般には長方形の色の良い品種が好まれ、さらに早熟性について関心があつめられている。早熟性は早期収量の多少が全収量を支配する年が多いためである。もちろん年により、早熟品種は夏ボケし易い欠点を持ち、ヤキなす用の大果もぎに向かない。

現在の品種では豊産性、早熟性の点から群真五号、新早真がすぐれ品質も良い。草勢の強い群交二号、金井新交鈴成は色が良く豊産で夏ボケしにくく、大果もぎのできる品種として好評を得ている。

茄子品種収量比較試験

S 42 上野幌育種場

	初期 収 量			全 期 収 量		
	個 数	重 量	収量比	個 数	重 量	収量比
金井 新交	63	3,120	100	151	6,385	100
新 早 真	91	3,910	125	184	7,285	114
群 真 五 号	144	6,255	200	246	10,005	157
群 交 二 号	78	4,500	144	199	9,010	141
千 両	89	4,520	145	178	7,870	123
新 橋 真	67	3,390	108	179	7,505	118

播種 4月2日 定植 6月9日 20株宛